

エコアクション21

環境経営レポート

2024



取組期間: 令和5年7月1日～令和6年6月30日
(2023年7月1日～2024年6月30日)

令和7年2月22日作成



森田建設(株)

環境経営レポート 目次

1 組織の概要(その1)	1	P
1 組織の概要(その2)	2	P
2 環境経営方針	3	P
3 実施体制組織図	4	P
4 環境経営目標	5	P
5 環境経営計画	6	P
6 環境経営目標実績結果	7	P
6 環境経営目標実績結果(グラフ)	8	P
6 環境経営目標実績結果(コメント)	9	P
7 環境経営計画の評価及び次年度の取組	10	P
8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無の実績と評価	11	P
9 環境コミュニケーション	12	P
10 代表者による全体評価と見直しの結果	13	P

1. 組織の概要(その1)

1. 事業者名 森田建設 株式会社
2. 代表者名 森田 克巳
3. 所在地 静岡県浜松市浜名区宮口3630番地の5
4. 事業活動 土木・舗装工事業、産業廃棄物収集運搬業
5. 従業員数 9名(役員2名含む)
6. 環境管理責任者 森田 由加里
担当者 原田 宗幸
7. 連絡先 Tel 053-589-8927
Fax 053-589-8966
E-mail m-kensetsu@if-n.ne.jp

8. 事業の規模

①設立地 現在地

②設立日 1989年9月1日

③資本金 3000万円

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年	2024年
		9月1日～8月31日	9月1日～8月31日	7月1日～6月30日	7月1日～6月30日
売上高	百万円	385	244	247	222
従業員数	人	12	13	8	9
事務所床面積	m ²	206	206	206	206
倉庫面積	m ²	2,506	2,506	2,506	2,506
資材置場	m ²	1,950	1,950	1,950	1,950

9. 事業年度

7月1日～翌年6月30日

10. 認証・登録範囲

全組織、全活動を対象

1. 組織の概要(その2)

11. 許可一覧

許可の種類	許可番号	許可年月日	有効期限
建設業許可	静岡県知事許可 (特-7)第028940号	令和7年5月11日	令和12年5月10日
産業廃棄物収集運搬業許可	静岡県知事許可 第022012043652号	令和7年1月16日	令和12年1月15日

12. 産業廃棄物収集運搬許可の種類

産業廃棄物収集運搬業	廃プラスチック類(石綿含有産廃物を除く。)、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(石綿含有産廃物を除く。)、がれき類(石綿含有産廃物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず 以上7品目
------------	---

13. 受託産業廃棄物収集運搬量実績(2023年4月1日～2024年3月31日結果)

種類	収集運搬量
アスコンガラ	29.32 t
コンクリートガラ	t
木くず	t

(下請け)

14. 保有車両

種類	車両番号	最大積載量	台数
キャブオーバ	浜松430さ435	2,000kg	1 台
ダンプ	浜松430さ436	2,000kg	1 台
ダンプ	浜松130た324	7,200kg	1 台
ダンプ	浜松130さ305	3,650kg	1 台
ダンプ	浜松400な2838	3,000kg	1 台



2. 環境経営方針

【環境理念】

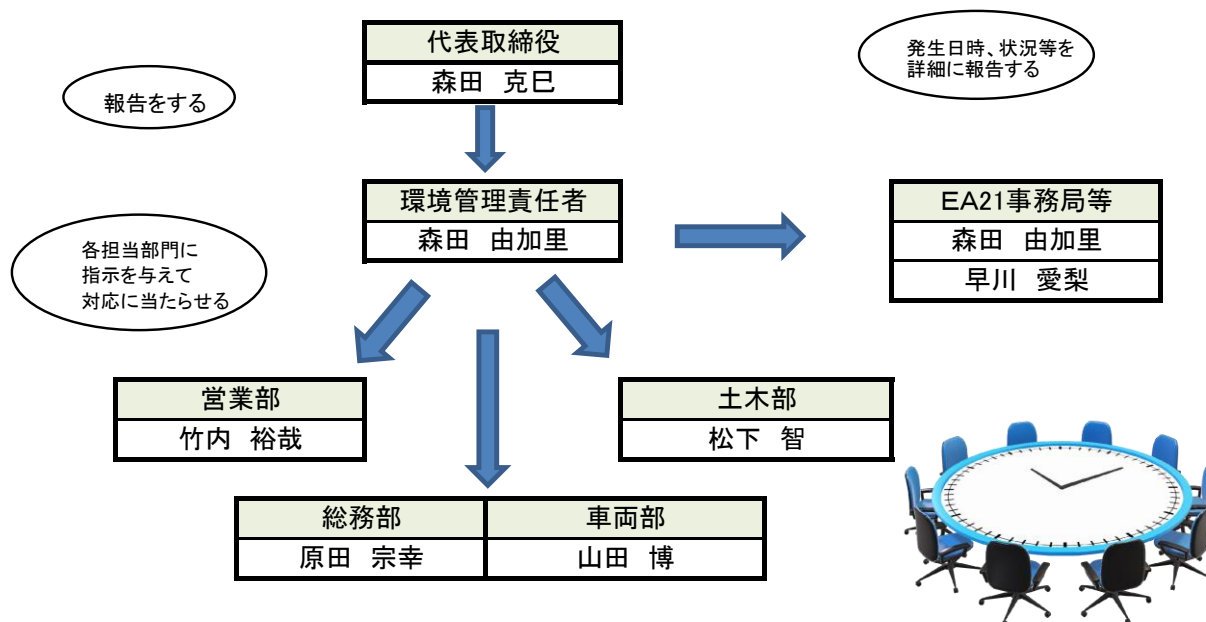
当社は、積極的に環境問題を認識し、事業活動のあらゆる分野で自主的、積極的に環境保全に取り組み、循環型社会の構築に努めていきます。持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し積極的に取り組むことや、人材の確保と育成に努めることが企業規模拡大のチャンスと捉えるとともに、環境負荷の削減にも努め、環境経営の継続的な改善を実施し地域に貢献する企業を目指します。

【行動指針】

1. 当社は、土木・建設工事業の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努め経営に生かしていきます。
2. 関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 土木・舗装工事業、産業廃棄物収集・運搬業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ① 土木・舗装工事現場における様々な環境配慮活動に取り組みます。
 - ② 土木・舗装工事、産業廃棄物収集・運搬業で発生する廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルへ取り組みます。
 - ③ 環境に配慮した土木・舗装工事の施工・提供及びサービスに努めます。
 - ④ 受諾した産業廃棄物の適正な収集運搬に努めます。
 - ⑤ 電気使用量・化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ⑥ 節水活動による水使用量の削減に取り組みます。
 - ⑦ 事務用品、土木資材等のグリーン購入に取り組みます。
 - ⑧ 全員参加による環境保全活動を実行します。
 - ⑨ 従業員教育を徹底し、資格の取得を推進していきます。
 - ⑩ 持続可能な開発目標(SDGs)に賛同し積極的に取り組みます。
 - ⑪ 環境保全に取り組み、環境問題を認識して積極的に経営に生かしていきます。

2017年9月10日 制定
2022年4月22日 改定
森田建設 株式会社
代表取締役 森田 克己

3. 実施体制組織図



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	②環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③環境管理責任者を任命する。
	④環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤代表者による全体の評価と見直しを実施をする。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理をする。
	②作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認をする。
	③法規制等の遵守状況をチェックをする。
	④環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認をする。
	⑤環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価をする。
	⑥問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦環境活動の取組結果を代表者へ報告をする。
	⑧EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 工事現場代理人	①責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告をする。
	②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置をする。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告をする。
	③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告をする。
	④環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告をする。
	⑤文書及び記録の管理保管をする。
	⑥外部コミュニケーションの窓口となる。
	⑦内部コミュニケーションの運営管理をする。
	⑧従業員に対する教育訓練の実施をする。
	⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録をする。

4. 環境経営目標

1. 取組期間(2023年7月～2024年6月)及び次年度以降の環境経営目標

項目		単位	基準値	取組期間の環境経営目標		次年度以降の環境経営目標					
			2019年7月(R2) ～ 2022年6月(R4)	2023年7月(R5) ～ 2024年6月(R6)		2024年7月(R6) ～ 2025年6月(R7)		2025年7月(R7) ～ 2026年6月(R8)		2026年7月(R8) ～ 2027年6月(R9)	
			基準値	目標率	目標値	目標率	目標値	目標率	目標値	目標率	目標値
土木・舗装工事施工に関する取組	環境配慮の工法提案		環境に配慮した工法の提案、環境負荷の少ない材料使用、再生利用可能な構造に努める	環境に配慮した工法の提案、環境負荷の少ない材料使用、再生利用可能な構造に努める							
	環境負荷の少ない材料使用										
	再生利用可能な構造提案										
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	エコドライブ等運転方法の配慮		受託した産業廃棄物の適正な収集運搬に努める	受託した産業廃棄物の適正な収集運搬に努める							
	収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化										
	収集・運搬産業廃棄物の飛散防止										
廃棄物削減	産業廃棄物排出量	t	901	98%	883	97%	874	96%	865	95%	856
	産業廃棄物排出量/売上高(百万円)	t/売上高(百万円)	2.98	98%	2.92	97%	2.89	96%	2.86	95%	2.83
	産業廃棄物リサイクル率	%	100%		100%		100%		100%		100%
エネルギー使用量削減	電力使用量	kWh	17,936	98%	17,577	97%	17,398	96%	17,218	95%	17,039
	ガソリン使用量	L	3,815	98%	3,739	97%	3,701	96%	3,662	95%	3,624
	軽油使用量	L	20,859	98%	20,442	97%	20,233	96%	20,025	95%	19,816
	ガス(LPG)使用量	kg	447	98%	438	97%	433	96%	429	95%	424
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8,011	98%	7,851	97%	7,771	96%	7,691	95%	7,610
	電力の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	25.9	98%	25.38	97%	25.12	96%	24.86	95%	24.61
	化石燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	63,893	98%	62,615	97%	61,976	96%	61,337	95%	60,698
	化石燃料の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	204.9	98%	201	#REF!	#REF!	96%	197	95%	195
	二酸化炭素の総排出量	kg-CO ₂	62,511	98%	61,261	97%	60,636	96%	60,011	95%	59,385
	二酸化炭素の総排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	139.0	98%	136	97%	135	96%	133	95%	132
水使用量削減	水使用量	m ³	554.3	水資源を大切に使用し、節水に努める							
グリーン購入	事務用品のグリーン購入		139.0	建設資材等グリーン購入に努める							
社会貢献	近隣道路等の清掃活動		会社周辺の1回の清掃の実施	会社周辺の年1回以上の清掃							
売上高		百万円	302								

<備考>

1. 基準年度実績に対して目標設定する。(目標値＝基準値×目標率)
2. 電気事業者別二酸化炭素排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)～R2年度実績～R4.1.7環境省・経済産業省好評の中部電力ミライズの調整後排出係数である「0.406kg-CO₂/kWh」を使用しました。
3. グリーン購入については、数値的目標を上げることが難しいことから、「提案するように努める。」の定性的な目標とする。
環境配慮工事の提案については、数値的目標を上げることが難しいことから、「提案するように努める。」の定性的な目標とする。
4. 2019年7月(R2)～2022年6月(R4)の基準値については3年間の平均値とする。

5. 環境経営計画

運用期間(2023年7月1日～2024年6月30日)の環境経営計画

目標分類		活動事項	2023年												責任者
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
土木・舗装工事施工に関する取組		①環境配慮工事の提案													営業部
		②特定工事の施工計画への反映													
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組		①エコドライブ等運転方法の配慮													営業部
		②収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化													
		③収集・運搬産業廃棄物の飛散防止													
廃棄物排出量削減	事務所	①コピー用紙の両面使用													EA21事務局
		②購買の集約化													
		③FaxのPDF化													
		④3Rの実施													
		⑤廃棄物の分別とリサイクル													
	リ建設イ副ク産ル物	①廃棄物の分別化													土木部
		②購買の集約化													
		③分別ルート新規開拓													
		④電子マニフェストの導入													
		⑤仮設資材・道具のリユース化													
温室効果ガス削減	化石燃料	①エコドライブ													車両部
		②エコ整備													
		③月点検実施													
		④アイドリングストップ													
		⑤効率的な営業活動													
		⑥排ガス対応車の導入													
		⑦省エネ車・重機の導入													
	購入電力	①空調温度 夏28℃冬20℃													環境管理責任者
		②クールビズ・ウォームビズ													
		③フィルターの定期清掃													
		④昼休み等不要証明設備off													
		⑤高効率照明機器の導入													
	公共工事	①見積ソフトによる削減計画立案													総務部
		②施工計画に削減計画反映													
水使用量削減	上水	①節水シート貼り付け													EA21事務局
		②節水弁、自動水栓取付													
		③雨水の活用													
グリーン購入		①環境ラベル対応品													EA21事務局
		②繰り返し使用可能品													
		③間伐使用材、リサイクル材の使用													
フロン排出抑制		①エアコンの簡易点検													EA21事務局
		②第1種特定製品の適正な処分													
地域貢献		①近隣道路等の清掃													環境管理責任者

6. 環境経営目標実績結果

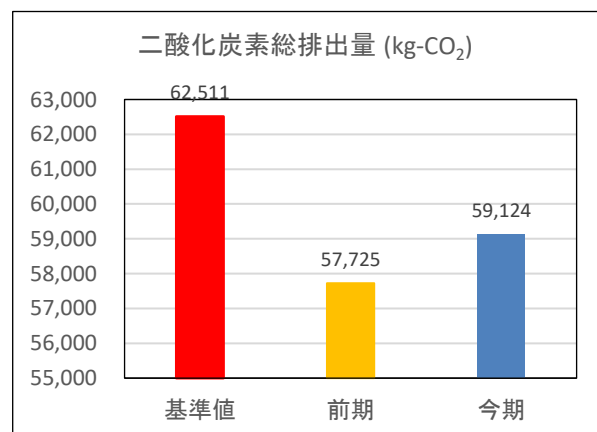
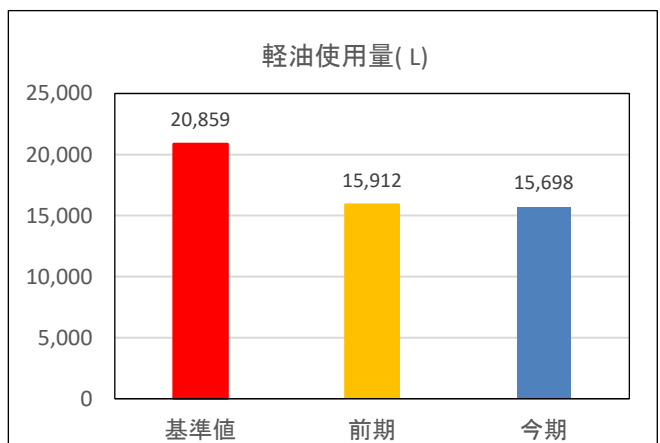
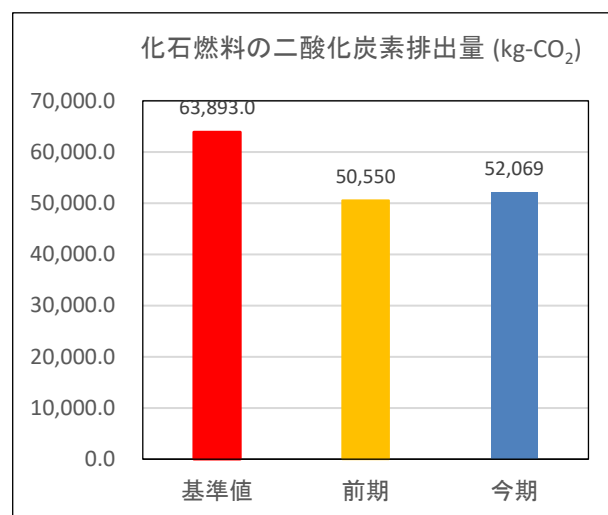
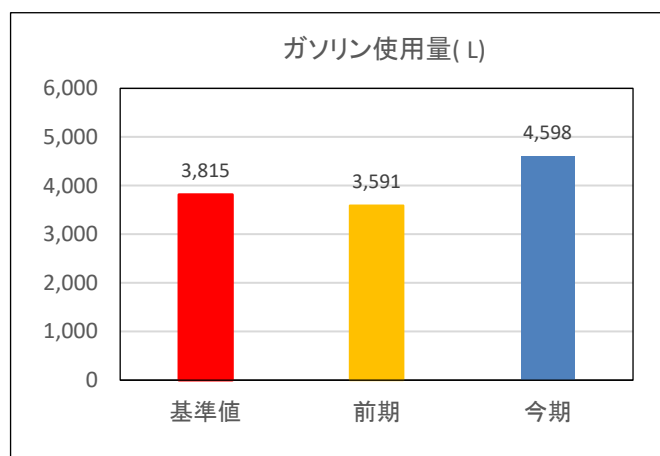
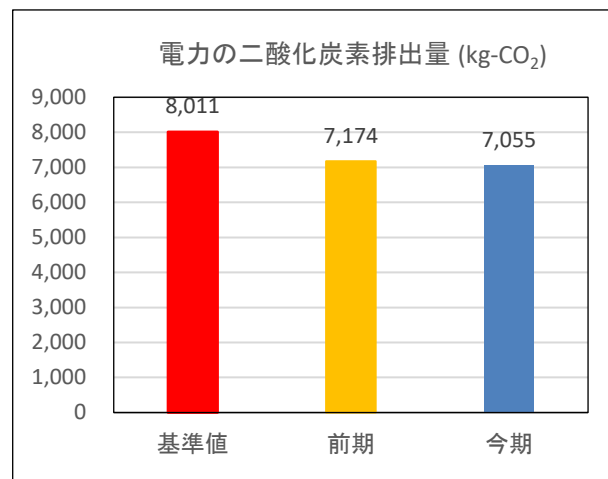
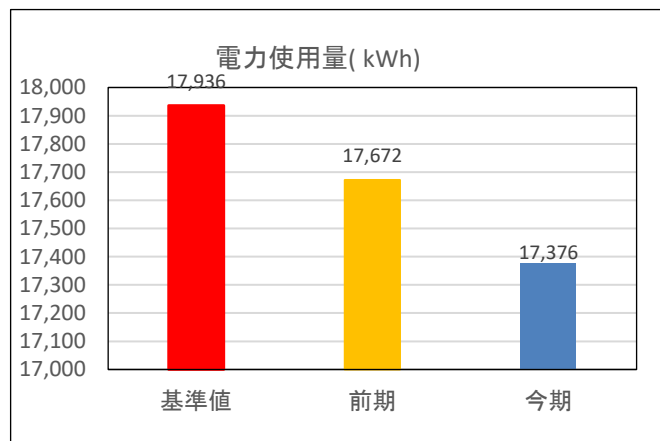
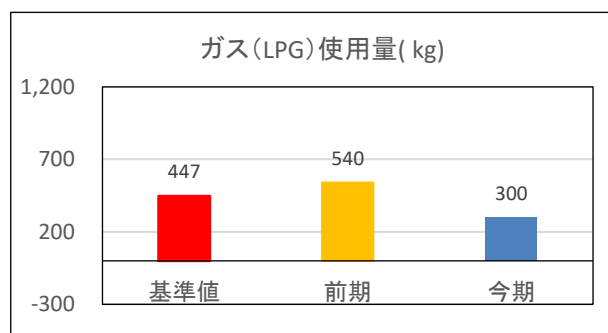
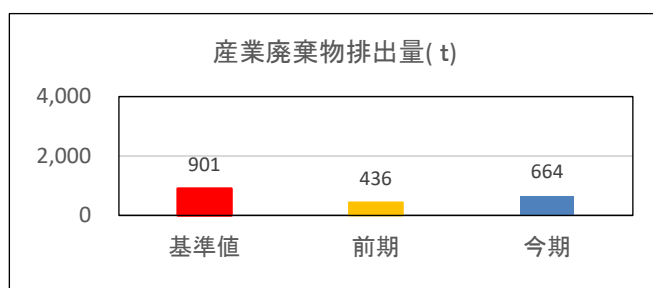
端数切捨て

環境目標項目		単位	2019年7月(R2) ～ 2022年6月(R4)	2023年7月(R5) ～ 2024年6月(R6)			評価
			基準値	削減率	目標値	実績	
土木・舗装工事施工に関する取組	環境配慮の工法の施工		環境に配慮した工法の施工、環境負荷の少ない・再生利用な材料の使用に努める	環境に配慮した工法の施工、環境負荷の少ない・再生利用な材料の使用に努める		出来る限り環境に配慮した工法で施工し、環境負荷の少ない・再生利用な材料の使用に努めることが出来た	○
	環境負荷の少ない材料使用						
	再生利用可能な材料の使用						
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組	エコドライブ等運転方法の配慮		受託した産業廃棄物の適正な収集運搬に努める	受託した産業廃棄物の適正な収集運搬に努める		受託した産業廃棄物の適正な収集運搬に努めることが出来た	○
	収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化						
	収集・運搬産業廃棄物の飛散防止						
廃棄物削減	産業廃棄物排出量	t	901	98%	883	664	○
	産業廃棄物排出量/売上高(百万円)	t/売上高(百万円)	2.98	98%	2.92	2.99	×
	産業廃棄物リサイクル率	%	100%		100%	100.0%	○
エネルギー使用量の削減	電力使用量	kWh	17,936		17,577	17,376	○
	ガソリン使用量	L	3,815		3,739	4,598	×
	軽油使用量	L	20,859		20,442	15,698	○
	ガス(LPG)使用量	kg	447		438	300	○
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	8,011	98%	7,851	7,055	○
	電力の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	25.9	98%	25.4	31.8	×
	化石燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	63,893	98%	62,615	52,069	○
	化石燃料の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	204.9	98%	200.8	234.5	×
	二酸化炭素の総排出量	kg-CO ₂	62,511	98%	61,260.8	59,124	○
	二酸化炭素の総排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	139.0	98%	136.2	266.3	×
水使用量削減	水使用量	m ³	554.3	水資源を大切に使用し、節水に努める		510	○
グリーン購入			商品選択を心掛け購入している	建設資材等グリーン購入に努める		商品選択を心がけることで、かなり高い比率で購入が出来た	○
フロン排出抑制			年4回実施	エアコンの年4回の点検の実施と、第1種特定製品の適正な処分をする		エアコンの年4回の点検の実施	○
社会貢献			会社周辺の1回の清掃の実施	会社周辺の1回以上の清掃		会社周辺の1回の清掃の実施	○
売上高		百万円	302			222	

<備考>

評価→○印:達成 △印:ほぼ達成 ×印:未達成

6. 環境経営目標実績結果(グラフ)



6. 環境経営目標実績結果(コメント)

当社は、環境保全への取り組みを経営の重要課題と位置づけ、これまでさまざまな目標の設定と改善活動を進めてまいりました。2023年7月から2024年6月までの環境実績評価においては、多くの分野で成果を上げる一方で、引き続き改善の必要性がある項目も明確になりました。

まず、電力・軽油・LPGといったエネルギー使用量については、基準値を下回る成果が得られました。これにより、総排出二酸化炭素量の削減という全体目標も達成することができました。電力の使用効率や、車両運用におけるエコドライブの徹底など、日々の業務における社員一人ひとりの意識向上が、これらの成果に繋がったと評価しています。また、産業廃棄物のリサイクル率100%や、グリーン購入の推進、フロン点検の定期実施、地域清掃といった社会貢献活動においても継続的に実施されており、企業としての社会的責任を果たす行動が着実に根づいてきました。

一方で、ガソリン使用量、及びCO₂排出量の「売上高比」指標においては、目標を下回る結果となりました。特に、売上が減少したことにより、売上高あたりの廃棄物排出量やCO₂排出量が増加するという傾向が見られ、経営指標と環境指標のバランスについて再考の必要があると考えています。環境負荷の削減は単なる数値管理だけでなく、事業効率の向上と不可分であるという認識のもと、より統合的な目標設定が求められます。

次年度以降は、以下の3つを重点目標として掲げます。第一に、産業廃棄物の発生抑制に向け、現場ごとの排出分析と対策の強化を行い、仮設資材や副資材の再利用・共有化を推進します。第二に、ガソリン使用量の削減を目指し、車両台帳と燃料使用履歴の見直しを行うとともに、ハイブリッド車やEVの導入検討を進めます。第三に、売上高比での環境効率指標を改善するため、全社的な業務の省力化・DX化による生産性向上にも取り組みます。

また、社員への環境教育も継続的に実施し、現場レベルでの改善提案制度を導入することで、ボトムアップによる環境意識の醸成を図っていきます。これからも持続可能な社会の実現に貢献すべく、PDCAサイクルに基づいた着実な環境管理を進めてまいります。



項目	改善点	詳細な改善案
産業廃棄物排出量 (総量)	目標達成	各現場での廃棄物発生状況を定量的に把握し、仮設資材の再利用率を高める。資材ロスの記録・分析を行い、教育に活用する体制を整える。
産業廃棄物排出量 (売上比)	効率悪化	業務効率化と営業強化による売上回復を図るとともに、施工手順や使用資材の見直しにより廃棄物発生の抑制を徹底する。
ガソリン使用量	燃費悪化、車両 管理不足	ハイブリッド車などエコカーの段階的導入を計画し、給油履歴のデジタル管理、運転者別の燃費評価制度の導入により無駄な使用を削減。
電力CO ₂ 排出量 (売上比)	売上減により効率悪化	太陽光発電、LED照明、自動制御設備など再生可能エネルギー・省エネ設備の導入を検討。業務時間外の不要電力を削減する運用体制を確立。
化石燃料CO ₂ 排出量 (売上比)	比率悪化	売上の回復を図る一方、燃料使用の月次レビューと使用基準設定により燃料消費の削減を定常的に管理する。
総CO ₂ 排出量 (売上比)	売上比では未達	CO ₂ 排出源をマッピングし、重点改善箇所（車両・設備等）を特定。ICT活用による移動・稼働の最適化を図り排出削減を進める。



7. 環境経営計画の評価及び次年度の取組

評価日
評価者

2025年2月22日
環境管理責任者 森田 由加里

目標分類		活動事項	評価	総評・特記事項等	次年度取組
建設工事施工に関する取組		①環境配慮工事の提案	○	実施することが出来た。	継続取組
		②特定工事の施工計画への反映	○	実施することが出来た。	
受託した産業廃棄物の収集運搬に関する取組		①エコドライブ等運転方法の配慮	◎	十分実施することが出来た。	継続取組
		②収集運搬取扱量の平準化、適切な収集運搬計画の作成による走行距離の短縮化	◎	十分実施することが出来た。	
		③収集・運搬産業廃棄物の飛散防止	◎	十分実施することが出来た。	
廃棄物排出量削減	事務所	①コピー用紙の両面使用	◎	十分に実施することが出来た。	継続取組
		②購買の集約化	◎	十分実施することが出来た。	
		③FaxのPDF化	◎	十分実施することが出来た。	
		④3Rの実施	○	実施することが出来た。	
		⑤廃棄物の分別とリサイクル	◎	十分に実施することが出来た。	
	リ建設副産物	①廃棄物の分別化	◎	十分実施することが出来た。	継続取組
		②購買の集約化	○	実施することが出来た。	
		③分別ルート新規開拓	○	実施することが出来た。	
		④電子マニフェストの導入	◎	十分に実施することが出来た。	
		⑤仮設資材・道具のリユース化	○	実施することが出来た。	
温室効果ガス削減	化石燃料	①エコドライブ	◎	十分実施することが出来た。	継続取組
		②エコ整備	◎	十分に実施することが出来た。	
		③月点検実施	◎	十分に実施することが出来た。	
		④アイドリングストップ	○	実施することが出来た。	
		⑤効率的なルート設定	△	今後も努力していく。	
		⑥排ガス対応車の導入	-	この期間の自動車の購入なし。	
		⑦省エネ車・重機の導入	◎	車輛購入時に検討し、十分に実施することが出来た。	
	購入電力	①空調温度 夏28℃冬20℃	○	実施することが出来た。	継続取組
		②クールビズ・ウォームビズ	○	実施することが出来た。	
		③フィルターの定期清掃	◎	十分に実施することが出来た。	
		④昼休み等不要照明設備off	◎	十分に実施することが出来た。	
		⑤高効率照明機器の導入	◎	十分に実施することが出来た。	
	公共工事	①見積ソフトによる削減計画立案	◎	十分実施することが出来た。	継続取組
		②施工計画に削減計画反映	◎	十分実施することが出来た。	
水使用量削減	上水	①節水シート貼り付け	◎	十分実施することが出来た。	継続取組
		②節水弁、自動水栓取付	×	今後要検討。	
グリーン購入		①環境ラベル対応品	◎	十分に実施することが出来た。	継続取組
		②繰り返し使用可能品	◎	十分に実施することが出来た。	
		③間伐使用材、リサイクル材の使用	◎	十分実施することが出来た。	
フロン排出抑制		①エアコンの簡易点検	◎	十分に実施することが出来た。	継続取組
		②フロン製品の適正な処分	◎	十分実施することが出来た。	
地域貢献		①近隣道路等の清掃	◎	十分に実施することが出来た。	継続取組

＜備考＞

活動評価→◎:良くてきた、○:まあまできた、△:あまりできなかった又は検討中、×:実施できなかった

8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無の実績と評価

評価日

2025年2月22日

評価者

環境管理責任者 森田 由加里

1. 当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法則・条例・規則	要求事項・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法(排出)	収集運搬業者及び処分業者との委託契約書締結	○
	委託契約書の保管	
	マニフェストの管理・保管(5年間)	
	多量排出事業所の産業廃棄物処理計画書の届出及び実施状況報告書	
	廃棄物の悪臭・飛散防止(保管時には留意する)	
	保管場所への掲示(60cm×60cm以上)	
	マニフェストの年間集計と政令市市長への報告(6月30日まで)	
廃棄物処理法(収集運搬)	マニフェストの管理・保管(5年間)	○
	処理基準の遵守(悪臭・飛散防止)	
	収集運搬車両の表示	
	変更届の提出	
建設リサイクル法	再生資源利用計画書・実施所の作成および報告	○
	再生資源利用促進計画書・実施所の作成及び報告	
	特定建設資材の分別解体	
浄化槽法	浄化槽の設置及び変更の届出	○
	保守点検清掃の実施(10条)	
	定期検査の実施(11条)	
フロン排出抑制法	第1種特定製品の簡易点検の実施(7.5Kw以下)	○
	第1種特定製品整備者の充填の委託業務等(フロン類の充填の第1種フロン類充填回収業者への委託)	
	第1種特定製品灰器等実施者の引き渡し業務(第1種フロン類充填回収業者へのフロン類の引き渡し)	
自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化等の促進	○
	リサイクル料金の負担(新車購入時又は既存の車は法施行後最初の車検時)	
家電リサイクル法	長期間使用による特定家庭用機器廃棄物排出の抑制	○
	廃棄時の特定家庭用機器廃棄物の適切な処理及び料金の支払	
	廃棄時、有料にて適切な引渡し(TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄)	
グリーン購入法	環境部品の購入	○
建設業法	静岡県知事に対する特定建設業の許可に関する各種届出	○
道路交通法	車輛及び路面電車の交通方法、運転者及び使用者の義務	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	排出ガス対策型機械の使用	○

＜備考＞○印:遵守、△印:対策準備・検討中等、×印:不遵守

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去1年間はありませんでした。

9. 環境コミュニケーション

エコアクション21による環境経営活動の取組みを経営方針に取り入れてから約7年が経過し、世間的にもエコアクションやSDGsの目標などで、環境問題への関心は高まっています。役員、社員の意識改革にも成功し、事業活動にも良い影響をもたらしました。今年度は、例年行われている社会奉仕(草刈)活動、地域の空き缶回収を実施、収集業者に渡すなどリサイクル活動、ペットボトルのキャップを回収するエコキャップ運動の取組を継続して行う予定です。



10. 代表者による全体の評価と見直し

1・見直し 関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 記録・文書として作成しました。
	2	環境目標及び目標達成状況	☒ 継続して取り組みます。
	3	環境活動計画及び取り組み実施状況	☒ 継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒ 継続して取り組みます。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 継続して取り組みます。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 継続して取り組みます。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☐
	8	その他(	☐

2・代表者による全体評価・見直し指示

コロナ禍から丸5年が経過し、ようやく規制が緩和され、以前の生活様式に戻つつあるように感じます。しかし、依然としてコロナ禍の影響は深刻であり、状況を甘く見ることはできません。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻から2年以上が経過し、物価高や燃料費の高騰が続くと予想されます。

我々が通常通りの売り上げを達成できたのは、従業員一同の努力の結果であると考えています。

売り上げ増加や事業拡大に伴う燃料消費量の増加はCO₂排出量の増加を招きますが、環境への配慮をより重視し、経営に積極的に取り入れていきたいと考えています。

2025年2月22日

森田建設 株式会社

代表取締役 森田 克己

見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境方針	有・ ☒ 無	
2	環境目標	有・ ☒ 無	
3	環境活動計画	有・ ☒ 無	
4	環境に関する組織	有・ ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有・ ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有・ ☒ 無	